

きみつ地域づくり協議会

# 周西地区設立準備会 第5回

2024年10月2日(水)

1. 開会・あいさつ
2. 全員自己紹介（お名前＋今回の“お題”）
3. 前回の振り返り
4. ゲストとトーク  
おきな まさひと さん（まちびと会社 ビジヨナリアル共同代表）
5. 感想メモ
6. 皆さんからのご提案・情報提供
7. 次回の日程 と 今後に向けて



# 前回(9月)

グループワーク

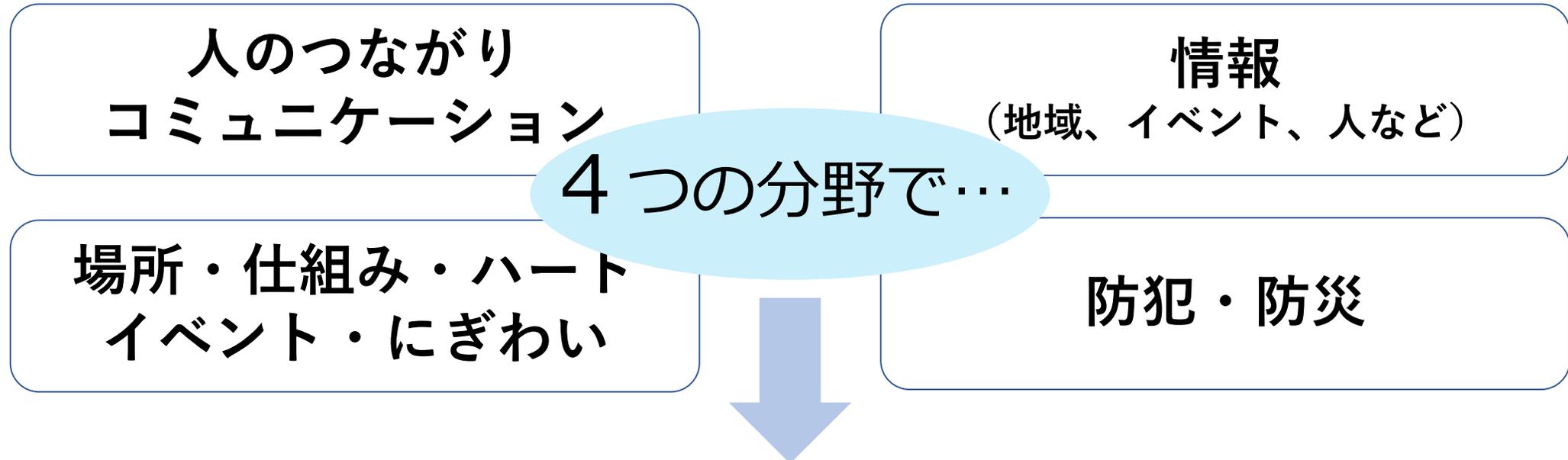
## 地域に思うこと②

地域にはこんな課題がある

その2



## 地域にはこんな課題がある その2



- ① 分野に関する事柄の中で、**具体的な課題・問題**を1つ選ぶ
- ② その課題・問題により**実際に出ている**（もしくは**予想される**）**影響**を書き出す
- ③ その課題・問題の**原因**を書き出す



## 人のつながり コミュニケーション

- 時代の流れがあり、**人とつながらなくても生きていける時代**になった。時代を巻き戻すのがむずかしい。
- 人と関わることを**警戒**している人もいる。
- 人のつながりをつくっていくためには、**拠点、イベント、音楽、カフェ、お弁当**などの力が有効ではないか。



## 防犯・防災

- 住宅の**耐震性**の問題（年代の古い住宅）
- 崖崩れや土砂災害
- **災害が起きたあとの備え**（今回のコメの品薄など）
- **小糸川沿岸の整備**が不十分、**枯れた竹**が溜まる問題。
- 国道16号の橋が崩れると、**逃げ道**がなくなる



## 情報 (地域、イベント、人など)

### 選択した課題

- どこを見たら求めている情報があるかわからない。
- 情報やイベントが一過性で、終わったら熱が冷める。

### 影響

- 本当は世の中にとって良いものなのに、気づいてもらえない。
- 知られず無駄になってしまい、やっている方のモチベーションも下がってしまう。
- 知られていないので、関わってくれる新しい人が増えない。それが、将来の不安を生む。

### 原因

- 情報社会のなかで、情報あふれている。メディアもSNSもありすぎる。

### 今後

- **どこのスポット**を当て情報発信するか
- 伝えるだけではなくて**伝わる情報**にしていなかいといけない



## 場所・仕組み・ハード・イベント・にぎわい

### 課題

- ・ 駅前がさみしい

### 影響

- ・ 居酒屋の夜しか人が集まらない
- ・ 空き地が多くなる
- ・ 印象が悪くなる
- ・ 人がとどまらない
- ・ 良い店が出店しない
- ・ 若い人が来なくなる

### 原因

- ・ 地元企業の**従業員が減った** ・ 実は**元々さみしかった**かも
- ・ **電車使う人が減った** ・ 駅近で**目立つイベントが少ない** ・ **若者向けの店がない**
- ・ **大型スーパーがなくなった** ・ **出店してくれる店がない**
- ・ 駅周辺で用事や娯楽などの**用事が済まない**（集約されていない）

### 今後

- ・ 地域活性化に賛同してくれる企業があれば、常設ではなく出店してくれないだろうか。  
それを見てほかの企業の出店なども呼び込めないか



# みなさんのコメントから…

- さまざまな問題や課題でうなづくことの多かった会議となった。次回も楽しみ。
- 君津駅前がさびしい。さびしいをPRする。出来るイベントをやる。→さびしくなくなった。なんて話はとても楽しかった。
- こうやって地域のことを話し合えるのは楽しいこと。そろそろ何かを具体的に始めたい。
- 言いたい放題で様々な話ができて楽しかった。課題としては「歌える、談合ができる」場を利益を考えつつスタートアップしてはどうか。地元企業にその場と人材の支援ができないと長続きしない。
- 多くの人達がつながるためには、どうすれば良いのか…。今の社会がそうさせてしまっている（つながらなくても生活ができる）。皆が外に出るためには何が必要なのかを考えたい。
- この設立準備会メンバーとだんだん親しくなってきた。素直にうれしい。ひとつの課題に対し多くの視点を見聞きでき自分の思考の幅が広がっていく。感謝！
- つながりをつくるために、弁当・音楽。外にでてゆく。高齢者と子どもの講義。サロン、カフェ。空き家を有効に使って“集いの場”を各地に配置
- 課題が少しずつ形になって見えてきた気がする。他のグループの発表を聞くと、自分のグループの課題と繋がる場所があった！と思うことが多々あった。